【 B 指導・支援 】　2．支援の計画の作成と活用　共通分野

教育と福祉の連携の際に用いられる支援の計画について、サービス等利用計画等と個別支援計画の関係や、個々の利用者に応じた個別支援計画の意味・知識・技術等の原則論を理解する。更に特別支援学校、特別支援学級等だけでなく、通常の学級に在籍する児童生徒においても、個別の教育支援計画等が作成・活用されていることを理解する。

◆主な内容◆

・相談支援専門員との連携
・サービス担当者会議
・支援目標や支援内容の設定
・本人や家族の承認
・個別の教育支援計画、個別の指導計画
・指導・支援に関する様々な記録

◆研修講座名（例）◆

「支援ニーズの把握と共有」（講義・演習 90 分）

〇支援の計画の作成・活用および関係機関との連携（講義 45 分）

・発達障害のある子どもが適切な指導・支援を受け、地域社会の中で自立した生活を送るためには、それぞれの機関が支援の計画(例えば福祉では障害児支援利用計画、サービス等利用計画、個別支援計画、教育では個別の教育支援計画、個別の指導計画)を作成し、活用することが重要となることを解説する。
・関係機関同士が支援ニーズを把握し、共有するために必要な連携の在り方について解説する。
・教育と福祉では、支援の計画の位置付けや取り扱いに違いがあることについて解説する。
・サービス等利用計画等と個別支援計画の関係、個別の教育支援計画と個別の指導計画の関係について解説する。

〇支援ニーズの把握と情報共有の重要性（演習 45 分）

・現在担当している事例を基に、具体的な支援の計画を作成させる。
・情報共有の好事例を示し、それぞれの機関における役割や関係性について考えさせる。
・作成した支援の計画をグループで共有し、情報共有の仕方や活用の工夫について協議をさせる。

◆到達指標◆（教育関係者・福祉関係者共通）

初級：教育や福祉で連携の際に用いられる様々な支援の計画の役割について説明できる。

中級：教育や福祉で連携の際に用いられる様々な支援の計画の役割に関する内容を踏まえ、必要な取組を実践できる。

上級：教育や福祉で連携の際に用いられる様々な支援の計画の役割に関する内容を踏まえ、他機関・他職種と連携を図りながら具体的な支援の方法を提案できる。

参考資料　23，24，26，59，60，120